

長くゴルフライフを楽しむために 会員になることをお勧めしたい

ゴルフを長く続けるためには
周囲の環境が大切である

子ども達の夏休みを利用して今年も各地でジュニアゴルフ大会が開催された。将来を見据えてジュニアゴルフー育成の必要性が提言される中、ジュニアゴルフ大会が年々盛んになっていくことは大変喜ばしいことである。参加している子どもたちに声をかけてみると、ゴルフを始めた時期は早い子で3〜4歳、遅い子でも小学校1・2年生からのようである。また、ゴルフを始めた理由はほとんどが「親に勧められたから」であった。

一方、シニアの大会で参加者に同じ質問をしてみると、ゴルフを始めた動機は「ゴルフは健康的なスポーツだと思ったから」という人も一部にはあったが、「会社の上司や同僚、得

意先の人に勧められて」との答えが多かった。また、ゴルフを始めた年齢は20〜30歳代という人が多数を占めていた。

ゴルフ歴30〜40年という人が増える一方で、親の勧めでゴルフを始めた



ジュニアが大人になっても長くゴルフを続けてもらいたいと思うが、それには第一に経済面での支援など環境づくりが大事だろう。

会員になることによる
多くのメリットに注目したい

何事にも言える事だが「継続は力なり」である。ゴルフは基本的に個人競技だが、ゴルフ場にプレーの予約をする場合は通常1組3・4人の組単位であり、いわゆる「仲間」が必要である。若い人を中心にプロやトップアマなどを目指す競技志向のゴルファーも見受けられるが、大半は仲間とゴルフライフを楽しみたいという人が多いようである。いつでも気軽にラウンドできるゴルフ仲間がいることは必要不可欠であり、そのためには同じ

ゴルフライフを楽しむ方と仲間になれる機会が多いゴルフ場の会員になることを是非ともお勧めしたい。

ゴルフーに対する各種アンケートでゴルフ場の会員になった理由として主にあげられているのは「クラブライフが楽しめるから」である。他には「多くの仲間と出会うことができる」と思われるから」や「クラブ競技に参加するなどプレー回数を増やして腕を上げたい」という人も多い。最近では「エントリー面で会員になれば優先権が得られるから」や「プレー料金が優遇され、多くのサービスを受けることができるから」というメリットに魅力を感じ入会する人も増えてきているようだ。競技志向派のゴルフーなどは年間のプレー回数が多く、メンバーーの方が割安だと考える方も多いようである。こうしたことから会員権を所有していない方も会員権価格が安くなってきたので購入を考えてみたいと思う人も増えているようである。

若い人を中心に、ゴルフーの中にはゴルフ会員権がどのようなものか知らないという人も見られるようで、こうした人たちに対し、ゴルフ場の会員になることに対する多くのメリットをもつとアピールしていくことも必要だろうと思われる。我々ゴルフ会員権業者がゴルフ場などと協力し、PR活動を積極的に行う必要もあるだろう。

本格的なゴルフシーズンを迎え、
会員権の活発な動きを期待

8月はかなりの猛暑によりゴルフ場来場者もいつもの月より少なかったり、お盆期間などの長期休暇をはさんだりしたため会員権の活発な動きは見られなかったものの、100万円以下の値頃感のある物件にはそこそこの動きが見られた。

購入価格が落ち着いていることも明る材料のひとつである。友人同士などグループ買いの動きもあり、名義書換料の値上げが予定されて

